

合同チーム編成基準例

☆ 同一地区内に次のような学校(部)があるとき

(例) 軟式野球部 (合同チーム編成基準部員数：9名 大会登録可能人数20名)

A 中学校 軟式野球部	B 中学校 軟式野球部	C 中学校 軟式野球部	D 中学校 軟式野球部	E 中学校 軟式野球部
部員数 4名	部員数 3名	部員数 7名	部員数 11名	部員数 50名

1 A中学校を中心に考えたチーム編成例

NO	編成例	参加可否
1	A + B = 7名	9名以下のため参加できない
2	A + B + C = 14名	<u>※特例として3校合同編成可</u>
3	A + C = 11名	編成可能『A・Cチーム』 : 1チーム
4	A + D = 15名	編成可能『A・Dチーム』 : 1チーム
5	A + E (5～16名) = 20名 (最大人数) E (ベストメンバーで編成) = 20名	編成可能『A・Eチーム』 : 1チーム 編成可能『E校単独チーム』 : 1チーム
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> A校は大会参加登録可能最小人数の9名から最大人数20名の範囲内において希望する人数の選手をE校からレンタルすることができる。但し、E校はまず最初に単独でベストメンバーを編成したのち、残りの選手の中からA校の希望に応じ、選手をレンタルするものとする。 </div>		

※当然、B・C校においてもA校と同様な合同チーム編成が可能である。

※(A+B) + (D校もしくはE校) からレンタルすることも可。

2 特殊なチーム編成例

NO	編成例	参加可否
6	C + D = 18名	編成可能『C・Dチーム』 : 1チーム
	C + Dから2名 = 9名	編成可能『C・Dチーム』 : 1チーム
	D(残り9名) = 9名	編成可能『D校単独チーム』 : 1チーム

※2校の合計人数が最大登録人数20名を上回る場合、ケガ等にも対応できるよう、21名～28名の範囲内において、1チーム編成も可能とするが、複数校合同チーム編成規定の趣旨から単独チームと合同チームの2チーム編成が望ましい。

3 その他の例

NO	編成例	参加可否
7	D + Eから9名 = 20名	D中学校部員数が登録人数20名を下回っているが、合同チーム編成基準9名を超えているため合同チーム編成は不可